



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第70回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第70回全国研究発表大会が2023年5月20日（土）、21日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2023年5月20日（土）、21日（日）

主催校：東海大学 品川キャンパス（4月より高輪キャンパスから名称変更）

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23

交通アクセス <https://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/campus-takanawa/>

開催形式：原則対面（1・2会場はハイフレックス対応を検討中）

連絡先：大会実行委員長 東海大学 成川忠之 E-mail: tadayuki@narukawa.net

主催：日本経営システム学会

統一論題：「Eコマースと経営システム」

基調講演：「ニューリテールの幕開け（仮）」 株式会社エニキャリア 代表取締役 小寄秀信氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円（当日支払は各 1,000 円高）

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア、飲食店などご利用ください。

宿泊：会場周辺にはホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、3月24日（金）までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、4月28日（金）まで（厳守）、学会事務局宛または第70回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に5月12日（金）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は、振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■大会会場へのアクセス

● JR 東日本

● JR 山手線・京浜東北線「高輪ゲートウェイ駅」より徒歩 12 分

● JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より徒歩約 18 分（改札より右方向（田町方面）に進み、「高輪 2 丁目」交差点を左折）

● JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より都バス「目黒駅行」に乗り「高輪警察署前」下車、徒歩約 3 分

● 東京メトロ南北線「白金高輪駅」下車、出口 1 から左に進み、徒歩約 8 分

● 都営地下鉄

● 都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」下車、A2 出口より徒歩約 10 分

● 都営地下鉄三田線「白金高輪駅」下車、出口 1 から左に進み、徒歩約 8 分

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

第 69 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 釧路公立大学 曾我 寛人

第 69 回全国研究発表大会は、2022 年 10 月 1 日 (土)、2 日 (日) の 2 日間、釧路公立大学において久しぶりの対面開催となりました。

統一論題は「世界情勢と経営システム」とし、基調講演は「貿易投資相談事例にみる、コロナ禍・ウクライナ侵攻下の日本企業の国際ビジネス動向」として、日本貿易振興機構(JETRO)石川雅啓氏にご講演いただきました。80 件の研究発表(一般研究部会 6 件、一般 24 件、学生 50 件)がありました。各発表会場には多くの会員が参加され、活発な議論が行われました。

会長の椎原先生をはじめ理事の先生方、大会実行委員の先生方、発表者・司会者の皆様、多くの会員の皆様の多大なご協力を賜り、トラブルなく開催することができ、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 川中 孝章

第 69 回全国研究発表大会(会場：釧路公立大学)終了後、表彰委員会において、厳正かつ慎重に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記 6 名が学生研究発表優秀賞の受賞者に決定しましたので報告いたします。

「空調機製造企業におけるオープンイノベーションの特徴に関する研究」 藤本慎一郎(立命館大学)

「先端半導体材料における情報開示特性と収益性」 綿引康介(山口大学)

「日本企業の英文有価証券報告書における MD&A パートの可読性とトーンが将来業績に与える影響」

川邊貴彬(神奈川大学)

「食材・料理の提供頻度を考慮した学校給食の献立最適化問題に対するヒューリスティック解法」

竹内ひまわり(神奈川大学)

「メタヒューリスティクスを用いたプレカット材倉庫運用効率化アルゴリズム」

有野正英(近畿大学)

「地域 PV 設備容量ポテンシャル推計における地域産業構造と AI 判別精度の関係」

前田清真(福島大学)

2022 年度第 2 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2022 年 9 月 15 日(木) 10:30~11:30
- II. 開催場所：Zoom 形式
- III. 出席者：椎原正次、上原衛、金子勝一、石田修一、今井正文、上西啓介、川中孝章、佐々木桐子、鄭年皓、田畑智章、長野寛之、林誠、柗紫乃、三森八重子、村山賢哉、柳田義継、板倉宏昭、大野高裕、奥井秀樹、近藤高司、佐藤修、島田裕次、曾我寛人、東海詩帆、中井秀樹、永松陽明、成川忠之、西口宏美、深澤琢也、松岡公二、水上祐治、水野浩孝、山下洋史 監事) 松丸正延 記録者：東海詩帆 (敬称略)
- IV. 審議事項
 1. 2022 年度第 1 回議事録の確認(柳田)：特に異議なく承認された。
 2. 会員の入退会について(柳田)：上原副会長より正会員 1 名の退会理由に誤字のご指摘があった。田畑常任理事より、2 名の学生会員の追加希望があり、次回の理事会にて審議することとなった。椎原会長より特別会員の会員資格、新規正会員のうち推薦者の記載のない 3 名の先生に関して確認をするよう要請があった。今井常任理事による照会により、その新規正会員 3 名のうち、2 名は Web ページから問い合わせを頂いていることが確認され、総務委員会が推薦人となるよう提案された。その他、特に異議なく承認された。
 3. 第 68 回全国研究発表大会収支報告(永松：第 68 回全国研究発表大会の収支の説明がなされ、94,814 円の赤字であったことが報告された。椎原会長より、支出の部を確認すると経費は最低限に抑えられており、コロナ禍の影響で発表件数が少なく遠隔開催のため参加費収入が十分に得られなかったことが原因であると説明がなされた。そのため、赤字はやむを得ないものであり、学会負担とすべきであると提案され、異議なく承認された。また、コロナ禍のもとで大会を運営してくださった大会実行委員会に感謝の意が述べられた。
 4. 第 69 回全国研究発表大会の準備状況について(曾我)：第 69 回全国研究発表大会の準備状況について説明され、特に異議なく承認された。9 月 19 日までに各種委員会の開催の有無、参加人数の報告を大会実行委員会にするよう要請があった。
 5. 第 70 回全国研究発表大会について(佐々木)：第 70 回全国研究発表大会は東海大学で開催し、成川理事に大会実行委員長をお引き受け頂き、第 71 回全国研究発表大会は東北大学で開催し、石田常任理事に大会実行委員長をお引き受け頂くことになったと説明され、特に異議なく承認された。
 6. 役員選出の日程と選挙等について(柳田)：椎原会長より、JAMS NEWS による告知はタイミングが合わないため、メーリングリストにて役員選挙の告知をすること、被選出常任理事推薦書は書留郵便等ではなく簡易書留等で送付すると記載するよう要請があった。役員選出委員と開票立会人については、異議なく承認された。文面等スケジュールに関しては、次回理事会(第 3 回理事会)にて改めて諮ることになった。
- V. 報告事項
 1. 第 68 回全国研究発表大会「学生研究発表優秀賞」について(川中)：学生研究発表優秀賞に 4 名が選出されたことが報告された。
 2. 学会誌投稿・連絡用メールアドレスについて(林)：投稿論文の進捗確認および確認漏れの防止を図るために、学会誌への投稿専用のメールアドレスを設けたことが報告された。
 3. 他学会への協賛について(鄭)：1 件の協賛について承認したと報告された。
 4. 中部支部長の交代について(椎原)：中部支部長を担当されていた愛知工業大学の近藤理事が定年退職となったことから、2022 年度からは同大学の終常任理事に交代することを椎原会長が承認したことが報告された。
 5. Zoom のライセンスについて(今井)：Zoom Pro (時間制限なし・接続人数最大 100 人) を 2 ライセンス契約したことが報告された。理事会、委員会、研究部会等で使用したい場合は、今井常任理事に連絡をするよう説明があった。
 6. その他
 - ①査読システムの導入について(椎原)：以前の理事会で、編集委員会より査読システムを導入してはどうかと提案があった。その検討が進んでいるかどうかの確認があった。編集委員会からは現在検討中であるとの回答があった。財務委員会からは、査読システムの来年度導入を目指すのであれば、具体的なシステム案をいくつかリストアップして頂きたいと要請があった。

2022 年度第 3 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2022 年 10 月 1 日(土) 10:30～11:10
- II. 開催場所：釧路公立大学 第 1 会議室
- III. 出席者：椎原正次、上原衛、金子勝一、毛利進太郎、石田修一、川中孝章、佐々木桐子、鄭年皓、田畑智章、長野寛之、柗紫乃、三森八重子、柳田義継、近藤高司、佐藤修、島田裕次、曾我寛人、谷崎隆士、中井秀樹、永松陽明、西口宏美、深澤琢也、堀江育也、水上祐治、村山誠、藪内賢之 記録者：中井秀樹（敬称略）
- IV. 審議事項
 1. 2022 年度第 2 回議事録の確認(柳田)：特に異議なく承認された。
 2. 会員の入退会について(柳田)：椎原会長より第 2 回理事会で確認のあった学生会員に関する報告があり了承された。その後、入退会が承認された。
 3. 第 69 回全国研究発表大会の準備状況について(曾我)：現在の参加予定者は正会員 72 名、学生会員 48 名、非会員 3 名の計 123 名であることが報告され、大会の開催に関して引き続きの協力依頼がなされた。
 4. 第 70 回全国研究発表大会について(佐々木)：東海大学で 5/20・21 に開催する予定で進められており、他学会の開催予定などを確認し決定する。高輪キャンパスでの開催予定であることなどが報告された。成川・田畑・西口理事を中心に大会実行委員会を構成中である。田畑理事より、立地についての説明の後、新型コロナ感染症の感染者数の状況などにより会場変更や遠隔開催の可能性がある旨の説明が行われ承認された。
 5. 役員選出の日程と選挙等について(柳田)：日程案の詳細が説明された。椎原会長より、役員選出規定第 8 条 2 に基づく会員への周知について、JAMS NEWS 発行のタイミングから、従来とは異なりメールリストおよび Web への掲載にて行うことが提案され、日程案と合わせて承認された。
- V. 報告事項
 1. 第 68 回全国研究発表大会「学生研究発表優秀賞」について(川中)：学生研究発表優秀賞に 4 名が選出されたことが報告された。
 1. 他学会への後援について(鄭)：第 18 回情報システム学会全国大会・研究発表大会への協賛が報告された。
 2. その他
 - ①会員情報について(柗)：567 通の発送に対して、現時点で約 2 割の変更情報が届いていることが報告された。
 - ②理事会開催について(椎原)：コロナ禍により止むを得ず理事会を遠隔で開催してきたが、理事会への出席者が増えている。そこで、今後、規定通りに対面で理事会を開催するかどうかについて意見が求められた。関東地区以外の参加理事からは遠隔での開催が望ましいとの声もあった。そのため、大会開催時及び重要案件の審議がある場合は対面、それ以外については遠隔開催も可能にする方向で内規の修正を検討することになった。

ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2022 年度第 5 回研究部会（第 143 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2023 年 3 月 4 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/secthr2022.html>

経営モデル研究部会のお知らせ

経営モデル研究部会 2022 年度第 4 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2023 年 3 月 11 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

<https://us02web.zoom.us/j/83351092155?pwd=RFVSc0pXZVFyUnZlWFdjenQ4RHhBXUT09>

ミーティング ID: 833 5109 2155 パスコード: 521730

発表予定者：

- (1) 「みなとみらいの回遊行動分析と MAS による回遊性向上のためのシミュレーション分析」
生越 莉乃 氏（神奈川大学）、片桐 英樹 氏（神奈川大学）
- (2) 「数理最適化を用いた学校給食の自動献立作成と今後の事業化に向けた展望」
佐々木 啓斗 氏（神奈川大学）、太田 和希 氏（神奈川大学）、片桐 英樹 氏（神奈川大学）
- (3) 「金融データベースの企業情報をもとにした分野間距離の推定に関する一考察」
水上 祐治 氏（日本大学）、銀屋 凜 氏（日本大学）、中野 淳司 氏（中央大学）

連絡先：田畑 智章（東海大学） TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学） TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/sectmm2022.html>

日本知能情報ファジィ学会 ソフトサイエンス研究部会 第 33 回ソフトサイエンス・ワークショップのご案内

近年、ファジィ理論およびソフトコンピューティングは、工学領域で用いられるだけでなく、開発された各種の手法や理論が、理学、医学、人文社会科学等の領域で広く利用されるようになってきました。より幅広い、そして新しい分野の方々の研究発表、参加を歓迎いたします。また、多くの方々のご参加をお待ちしております。

日程：2023 年 3 月 5 日（日）、3 月 6 日（月）

開催場所：愛知工業大学 八草キャンパス（愛知環状鉄道／愛知高速交通 八草駅より 徒歩 10 分）

アクセス <https://www.ait.ac.jp/access/yakusa/> 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草 1247

（オンライン併用については、現在検討中です。通信トラブルも考えられることから、登壇者の方は、ぜひ会場にお越しいただければと存じます）

主催：日本知能情報ファジィ学会ソフトサイエンス研究部会

協賛（略称）：経営システム学会、知能情報ファジィ学会 東海支部、評価問題研究部会、心理学会、BMFS

学会、人間工学会、OR 学会、情報経営学会、電子情報通信学会、情報システム学会、経営情報学会

実行委員会：実行委員長 河辺義信（愛知工業大学）、副実行委員長 小田哲久（愛知工業大学）

プログラム委員長 藤本勝成（福島大学）、WEB 広報担当 高萩栄一郎（専修大学）

問い合わせ先（実行委員会）：ssw2023@sys.sss.fukushima-u.ac.jp

研究発表申込みについて：1. エントリ締切：2 月 24 日（金） 2. 原稿提出締切：2 月 24 日（金）

3. 申込費用：申し込み 1 件につき 4,000 円（参加費 1 名分を含みます）。

4. 準備の都合上、以下の「参加申込み」も忘れず行ってください。

参加申込みについて：申込み締切：2022 年 3 月 2 日（木） [WEB 参加申込み]

参加申込みは、必ず期限内に済ませてください。もし、それ以降に申込みをされる場合は、参加申込み WEB に必要事項を登録後、実行委員会へメールを送って知らせてください。また、期限後の申し込みは対応できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

参加費：一般 4,000 円、学生・特別会員 2,000 円

発表形式：口頭発表（発表 15 分＋質疑応答 5 分）学生登壇者（若手奨励の観点から、35 歳以下の方とさせていただきます）は、ベスト・プレゼンテーション賞の審査対象者となります。

講演論文集：今回は PDF による配布となります

研究部会 Web ページ <http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~thc0456/nef/Softs2023.html>

受付番号 _____

日本経営システム学会 研究発表申込書

2023年度 第70回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1 ()	2 ()
当日の口頭発表者には*を付す	3 ()	4 ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ()

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。
2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)
3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 パラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@jams-web.jp